

# ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

2004

12

NO.597



町イメージ  
キャラクター  
「モウ太くん」

親子で、仲間で、  
しあわせな時間

～フランス鴨&ワインパーティー～



関係者ら300人が出席

## 町功労者表彰式・ 閉町式並びに合同竣工式

# 合併しても東由利は永遠

「町功労者表彰式・閉町式並びに合同竣工式」が十一月五日、健康増進センターで行われました。閉町式はより多くの人が集まる機会にと、このたびの表彰式・竣工式と併せて挙行。当日は、町民とともに東京・秋田・本荘の各東由利会員、県・本荘由利一市十町の首長・議長ら合わせて三百人余りが出席しました。

式典では、阿部幸悦町長が町功労者四氏と、閉町にあたり、これまで町勢の伸長発展に寄与された四個人・二団体にそれぞれ表彰状、閉町記念感謝状を贈呈。また、生活圏三十分形成道路整備事業、フォレストコミュニティ総合整備事業、特別養護老人ホーム「東光苑」増改築・シヨートステイ増床事業など九事業が無事完了したことを祝いました。

阿部町長は式辞のなかで、

## 竣工した9事業の概要

### フォレスト・コミュニティ総合整備事業(八塩いこいの森パークゴルフ場)

所在地	八塩いこいの森
工事内容	9ホール×2コース(22,960)
事業費(千円)	50,000

### 特定交通安全施設等整備事業(町道台山線)

所在地	下小路～跡見坂
工事内容	改良・舗装工事(984.7m) (歩道幅員2.5m) (橋梁1基34.0m)
事業費(千円)	166,000

### 宿地区移動通信用鉄塔施設整備事業

所在地	大琴
工事内容	建設工事 通信設備工事 外構工事
事業費(千円)	37,334

### 県営ため池等整備事業

所在地	ボツメキ
工事内容	堤体補強工 取水塔工 底樋工
事業費(千円)	172,562

### 生活圏30分形成道路整備事業

所在地	岩館～上横渡
工事内容	改良・舗装工事(1,362m) (幅員11.0m) (歩道幅員2.5m) (橋梁1基54.50m)
事業費(千円)	1,132,000

### 県営高能率生産団地路網整備事業

所在地	館合字高森ほか
工事内容	作業道(5,088m)
事業費(千円)	50,864





役場前に設置されたブロンズ像「明日」



祝賀会ではコール黄桜の皆さんが小松耕輔の名曲を熱唱

### 閉町記念モニュメント除幕式

## 菊地邦彦氏作「明日」

この日、式典に先立ち、役場前では閉町記念モニュメントの除幕式が行われ、菊地邦彦氏作（館合出身）のブロンズ像「明日」が披露されました。

この像は、由利本荘市の東端に位置する本町の朝明けと、合併後の東由利地区が力強く前へと進む姿をイメージして造られたものです。

この他、旧役場庁舎跡地と旧館前小学校跡地に記念碑が建てられました。



旧役場庁舎跡地の記念碑

「合併しても東由利という地区は永遠に残る。由利本荘市としての発展を心から願う」とあいさつ。九事業の完成について「合併を控え、社会資本の整備に力を

入れた。関係者の支援に感謝したい」と述べました。式典後の祝賀会では、表彰者へのお祝いとともに、新たな自治体誕生に向かい、これまで東由利として発展してきたふる里への思いを熱く語り合う姿が、そちこちで見られました。

### 新山村振興等農林漁業特別対策整備事業

所在地	大台
工事内容	配水管敷設（3,487.0m） 給水設備
事業費(千円)	46,200

### 農業集落排水整備事業

処理場	
所在地	上横渡
工事内容	鉄筋コンクリート平屋建 （延床面積585.79） （建築面積454.05） 機械電気工事 機能調整工事
事業費(千円)	440,000
県単管理整備	
所在地	蔵、蔵新田、横渡、岩館、島、宮ノ前、野田新処、十二ノ前、桂台、小倉、上里
工事内容	管路施設（15,733m） 雨水排水（128m）
事業費(千円)	1,300,000

### 特別養護老人ホーム「東光苑」増改築・ショートステイ増床事業

所在地	蔵
工事内容	鉄筋コンクリート造平屋建 （延床面積434.38） 建築本体工事 機械設備工事 電気設備工事
事業費(千円)	168,683



ショートステイの談話室に設置された黄桜のアートレリーフ

## 第10回臨時議会

# 会館改修事業補助金を増額

第十回議会臨時会が十一月十二日に招集され、平成十六年度一般会計補正予算が原案どおり可決されました。

《一般会計補正予算》

一千七百十二万七千円を追加し、予算総額を四十三億六千一百二十万二千

円としたもの。歳出予算追加の主な内容は、会館改修事業費補助金二百九十五万円、児童保育の児童数増加に伴う県単放課後児童健全育成事業費補助金百四十八万円。

## 安全でスムーズな除雪作業を

### 除雪安全祈願祭

除雪安全祈願祭が十一月十二日、役場駐車場で行われ、関係者約四十人が除雪車両運行の安全を祈願しました。神事後、阿部幸悦町長が「本町の高水準の除雪レベルを維持していくた



除雪作業の安全を祈願する関係者

めにも、オペレーターの方々には健康と安全に十分気をつけていただき、効率の良い除雪作業を進めてほしい」とあいさつ。

関係者は除雪に対する心構えを新たにしていきました。

除雪車は午前2時30より始動

### 皆さんのご協力を

円滑な除雪作業には、町民の皆さんのご理解とご協力が必要です。道路上の違法駐車や宅地の雪の放置などは、除雪作業の妨げになりますのでご注意ください。また、除雪作業は午前二時三十分から午前六時三十分をめどに行われますが、区域や路線により時間差を生じることがありますので、ご理解ください。

除雪に関するお問い合わせ

役場建設課（69 2115）

鳥海山は真っ白になり、八塩山も一瞬でしたが白くなり、積雪近しのこの頃です。三日は紅葉カップパークゴルフ大会でした。来年九月に行われる東北大会の予行練習にもなり、良い大会でした。八塩いこいの森もいよいよ冬こもりです。

五日は「町功労者表彰式・閉町式並びに合同竣工式」がありました。阿部剛氏はじめ四氏に功労賞を、豊島重孝先生はじめ四氏・二団体の皆さんに感謝状をお渡ししたことです。東由利町としては最後の功労者表彰式で、たくさんのご来賓もお見えです。からと、閉町の式も一緒にさせていたいただきました。いろいろの思いを込めて式辞を読み上げました。

七日、老方地区を会場に防災訓練をいたしました。町内会のご協力で今回も良い訓練ができました。初めての試みでしたが、炊き出しもしていたできました。あきたこまちのおにぎりが大好評でした。ご協力ありがとうございました。

十二日は臨時議会と除雪の安全祈願祭がありました。例年この祈願祭の日はコートがある寒さですが、今年はその必要もなく、暖冬の予報が当たるかなと思ったことです。オペレーターの皆さんには、今年も健康に気を付けて日本一の除雪をとお願ひしたことです。

十三日は連合PTAがあり、講演会の講師を務めました。後輩でもある子どもたちを日本人として誇りを持って育ててもらいたいとお願ひしたことです。

二十日の夜は、十一回にもなるフランス鴨&ワインパーティーがありました。改めてフランス鴨生産組合の馬力に敬意を表し

## 町長日記

たことです。この会は、今や由利郡内はもちろん近隣市町村の情報交換会にもなっていることです。岩城町の加藤鉦一町長も天鷲ワイン持参で出席してくれました。鳥海町の村上助役さん、大森町の佐々木収入役さん、金浦町の佐々木収入役さんのお顔も見えました。NHKのキャスター伊藤みさとさんも「グレイスフル・シンガーズ」の一員として歌ってくれました。改めて金子拓雄さんの顔の広さを再確認した会でもありました。

二十一日、役場会議室で合併協議会事務局の村上副局長さんたちが来て、合併協議事項の説明会がありました。ビデオでの説明で分かりやすく良い会でした。これを皮切りに、夜になりますが六分館で説明会を開きます。

二十三日は在京宿小会がありました。今回は六十人ほどの参加者でしたが、やはり赤八チマキの宿小の会でした。大変な盛り上がりでした。会長さんも佐々木明夫さんから畑山良造さんにバトンタッチされ、幹部役員も決まり、新体制での宿小会が始まります。町が合併しても故郷は変わらないことですから、ますます交流を強くしてもらいたいとお願ひしたことです。

二十八日は町民ビーチバレーボール大会があり、スポーツ少年団も大活躍でした。十一時からは旧法内小記念石碑の除幕式がありました。遠藤重和先生、今野銀一郎先生の思い出を語る姿に感激しました。実行委員会の皆さんに敬意を表しました。

この冬はインフルエンザもはやりそうです。予防注射もしっかりして、積雪の冬に備えましょう。



秋まつり2004

# 力作ぞろいの農産物展

町民の皆さんが日ごろ取り組んでいる生産・文化活動の成果を展示、発表し合う「秋まつり2004」が十月三十日と三十一日の両日、健康増進センターを主会場に行われ、二日間で約二千人が会場を訪れました。

今年には町内各農業団体による農産物展が三年振りに開催され、秋の悪天候にも関わらず多くの力作が並び、来場者の目を楽しませていました。



力作がそろった農産物展

また、三十一日に開催された「秋まつり」では、絵本の読み聞かせや凧づくり体験などが行われ、会場には子どもたちの歓声がひびきました。（詳細は18ページの生涯学習だより）

農産物展受賞者（敬称略）

## 【特別賞】

知事賞 佐々木精人（バラ・大琴）

町長賞 渡辺民蔵（葉たばこ・石高）、小松喜代（EMぼかし肥・中通）、森川イク（しそみそ巻き・横小路）

JA組合長賞 佐々木精人（バラ・大琴）、木嶋成寿（乾牧草・岩館）

【青果物・花き部門】

1等賞 佐々木精人（バラ・大琴）

【葉たばこ部門】

1等賞 渡辺民蔵（石高）

【飼料作物部門】

1等賞 木嶋成寿（乾牧草・岩館）

【加工品部門】

1等賞 森川イク（しそみそ巻き・横小路）

【生活研究作品部門】

1等賞 小松喜代（EMぼかし肥・中通）

シルバー作品展受賞者敬称略

【町長賞】

野菜の部 小松敏雄（かんらん・田代福寿会） 果実種・食品加工の部 遠藤オキヨ（茄子みそ漬・法内生寿会）

手芸の部 小松ケイ（タペストリー・田代福寿会）



展示物を眺める来場者



最終日に行われた紅葉カップパークゴルフ大会

## 第4回やしお紅葉まつり 八塩いこいの森で秋を満喫

第四回やしお紅葉まつりが、十月三十日から十一月三日までの五日間、八塩いこいの森で行われ、ダム湖周辺の紅葉を楽しむものと約八百人が訪れました。

最終日に行われた第3回紅葉カップパークゴルフ大会では、加藤清一さん（湯出野）が男子の部で見事優勝。参加

## 新嘗祭 小野さんあきたこまちを献上



小野長一さん・ツヨ子さん夫婦

小野長一さん（宿）が十月二十六日、皇居に赴き天皇陛下にあきたこまちの新米一升を献上しました。これは、十一月二十三日の宮中行事、新嘗祭用の新

と、献穀用の作物を栽培することとは農家にとってめったにない名誉。献上を終えた小野さんは「秋は天気が悪く、実り具合が不安でした。無事に収穫できてほっとしています」と、このたびの大役を果たした喜びを話していました。

米で、秋田県から小野さんら二組の農家が献穀したものです。秋口の台風の影響が心配されましたが、春の田植えから収穫まで小野さん夫婦が丹精込めて育てたあきたこまちは、見事な出来栄となりました。

した約二百人の選手たちは、色とりどりの木々の中でプレイを楽しみました。大会結果は次のとおりです。（敬称略）

男子の部

優勝 加藤清一（東由利町）

第2位 長堀金記（本荘市）

第3位 佐藤重夫（本荘市）

女子の部

優勝 小野利子（本荘市）

第2位 三船リツ（本荘市）

第3位 柴田良子（湯沢市）



## 50年の出来事

# それぞれの心に刻む 東由利の思い出

本町は今年で合併五十年、町制施行三十周年を迎え、来年三月二十二日には、新市「由利本荘市」としての新たなスタートを切ろうとしています。

昭和三十年の合併から現在に至るまでの五十年間には、学校の統廃合やパイパスの開通、電話の普及などさまざまな出来事があり、私たちの暮らしを取り巻く環境も大きく変化しました。一人一人の心に刻まれている出来事や思い出も、それぞれ違うのではないのでしょうか。

今月の広報レポートでは、町民の皆さんに聞いた「心に残る出来事」を紹介し、町の五十年を振り返ります。

町制記念式（昭和四十九年）



## 50年の主な出来事

- 昭和30年 東由利村誕生
- 昭和31年 法内小学校・宿小學校大台分校新築工事完成
- 昭和32年 大琴簡易水道完成、永慶保育園開園
- 昭和33年 館合簡易水道完成
- 昭和34年 役場新庁舎開庁、みどり保育園開園
- 昭和35年 大琴診療所開設
- 昭和36年 台風一八号で蔵小学校大破
- 昭和37年 黒淵診療所開設
- 昭和38年 八塩ダム完成
- 昭和41年 NHKテレビ東由利局開局
- 昭和43年 農村集団電話開通、島の大火
- 昭和44年 下郷・玉米中学校が統合、高村分校完成
- 昭和45年 本荘高校下郷分校校舎完成
- 昭和46年 新生東由利農業共同組合発足、村章決定、東由利中学校落成式、東由利中学校寄宿舎開設
- 昭和48年 広域ゴミ収集開始、大台分校完成
- 昭和49年 鳥海山噴火、町制施行、蔵・法内小学校統合発足
- 昭和50年 本荘高校下郷分校全日制に移行、電話自動改式
- 昭和52年 有鄰館開館
- 昭和53年 老方小学校祝沢分校が閉校
- 昭和56年 宿・袖山小学校が統合し大琴小学校開校
- 昭和57年 玉米・住吉小学校が

## 身近な良き ライバル同士の合併



阿部 竹雄さん  
(宮ノ前)

玉米村と下郷村の合併は、良きライバル同士の合併というイメージがありました。現在協議が進んでいる一市七町の合併よりも、お互いがもっと身近な存在だったと思います。当時も合併に対する不安はありませんでした。

が、今ほどではありませんでした。現在、台山には多くの施設ができていますが、二つの村が合併した当時は農地としての苦勞も多く、今のようには栄えるとは思っていませんでした。しかし、台山とは逆にそれまで両村の中心になっていた蔵や館前などの地区は寂しくなりました。

一市七町の合併でも周辺地域の過疎化を心配する人が多くいます。今までの五十年よりもこれからの五十年の方が苦勞も多いでしょう。若い人たちには頑張ってもらいたいですね。

## 農作業の後の授業、 居眠りもしました



小松三喜雄さん  
(新町)

下郷分校ができた当時は、地域の力になる良い人材を下郷分校で育てたいという雰囲気地域全体にありました。若者は家で農業をするのが当たり前という考えから、やっぱり勉強もしたいという考えに移行していく

時代でもあったと思います。私は、老方小学校の校舎を利用して開かれていた青年学校に二年入り、その後下郷分校の一期生として入学しました。定時制だったので、日中は農作業をして、それから学校に通いました。勉強したいという気持ちはありませんでしたが、肉体労働の後だったので、さすがに居眠りをすることもありましたよ。でも友だちとバスケットボールをしたり、陸上の大会に出たりしたことは本当に楽しかった。良い思い出です。



# 伝統を大切に

## さらなる飛躍を

### 高瀬小学校創立20周年記念式典

昭和五十九年の開校から五百八十余名の卒業生を送り出してきた高瀬小学校が、このたび創立二十周年を迎えました。

十月二十八日には、創立二十周年記念式典が挙行され、式典に出席した児

童、保護者、町教育関係者など約三百人が、同校の伝統と歴史を振り返りました。

始めに、畠山鋼実行委員長が「老方蔵、法内、宿、袖山小学校の伝統と地域の思いが高瀬小の土台になっている。これからも卒業生や地域住民の皆さんが誇りを持てるような学校にしていきたい」とあいさつ。

また、佐藤修一校長が「皆さんの温かい支援が同

校の躍進につながった。これから家庭や地域との連携を深め、一層の飛躍を目指し、より豊かな心を育てていきたい」と式辞を述べました。

式典の後には、児童による記念学芸発表会が行われ、各学年が寸劇や歌などを披露。会場の出席者からは、大きな拍手が送られました。

と蔵小学校の統合により開校し、平成十四年には大琴小学校と統合。老方蔵、法内、宿、袖山旧小学校のそれぞれが持つ歴史や伝統を融合させながら発展してきた同校の活躍には、「地域の学校」として今後ますますの期待が寄せられます。



創立20周年記念式典

## 高瀬小学校 20年のあゆみ

昭和59年4月1日  
東由利町立高瀬小学校開校

昭和60年4月16日  
校地の緑化工事開始

昭和62年11月8日  
全県卓球大会ブロック優勝

昭和63年9月18日  
創立5周年記念式典を挙行

平成元年7月30日  
第5回全国青少年リレー競争大会秋田県予選会優勝 全国大会出場権獲得

平成5年11月20日  
第1回「高瀬まつり」

平成6年6月2日  
郡市陸上 男女リレー優勝

平成6年6月20日  
学童野球郡市大会で優勝

平成6年9月17日  
創立10周年記念式典並びに記念児童活動

平成6年10月10日  
郡市陸上競技大会リレー競技 男女アベック優勝

平成10年6月8日  
創立15周年を記念して、航空写真を撮影

平成14年4月1日  
大琴小学校と統合



会場の笑いを誘った「ことわざ寸劇」(4年生)



力強い踊りを披露(2年生)

# ニュース & トピックス



童謡を熱唱する照井咲枝さん

## 豊かな心で子育てを

### 第25回東由利町連合PTAの集い

「子育てに明るい光をもって」をテーマに第二十五回東由利町連合PTAの集いが十一月十三日、有郷館で開かれ、保護者や町教育関係者ら約百二十人が参加しました。

単独町として最後となる今回の集いでは、「はじめのつけられる人」と題した阿部幸悦町長の記念講演のほか、豊かな心で子育てに取り組もうと童謡コンサートを開催。ソプラノ歌手照井咲枝さん（横手市）が、歌つ「この道」「お山の細道」などの名曲に参加者は熱心に耳を傾けていました。



本番さながらの訓練を展開

## 日頃の訓練が大切

### 防災訓練

防災訓練が十一月七日、老方地区で行われ、町消防団や地元婦人消防隊、地域住民ら約二百人が本番さながらの訓練を展開しました。

大規模地震を想定して行われた今回の訓練では、火災の消火活動や負傷者の救護、地域住民の避難を重点的に実施。はしご車による消火演習のほか、ポンプ車とバケツリレーによる消火活動、地域住民による炊き出し訓練なども行われました。

参加者は真剣な様子で訓練にあたり、日頃の訓練の大切さを確認しました。



高瀬卓球スポーツ少年団

## 2大会で大活躍！

### 高瀬卓球スポーツ少年団

第九回本荘市由利郡スポーツ種目別交流会が九月十二日に開催され、高瀬卓球スポーツ少年団が一部で準優勝、二部で優勝に輝きました。また、十一月二十一日に開催された第二十六回本荘市由利郡卓球選手権大会では、同スポーツ少年団の佐々木亜美さん（大夢）が六年女子の部で準優勝、遠藤温美さん（小倉）が同じく第三位と大健闘。亜美さんと温美さんは、昨年も同大会の五年の部でそれぞれ優勝と準優勝を果たしており、このたびは二年連続の上位入賞となりました。



「グレイスフル・シンガース」の皆さん

## 自慢の味でおもてなし

### フランス鴨＆ワインパーティー

町フランス鴨生産組合（金子拓雄代表）が主催する「フランス鴨＆ワインパーティー」が十一月二十日、有郷館で開かれ、約二百人の出席者がフランス鴨のフルコースを堪能しました。

当日は、同組合自慢のフランス鴨のほか、近隣市町からワインなどの特産品が多数届けられ、それぞれが自慢の味を交換。

また、女性コーラスグループ「グレイスフル・シンガース」の皆さんがゴスペルを熱唱、抽選会ではたくさんの豪華商品が用意され、会場には出席者の笑顔があふれました。



# 「こどもまつり」「たにぎわい」

「第十三回こどもまつり」が十月三十一日に町民体育館で開催され、園児の作品や保育園の写真を展示した会場には、親子連れや友達同士などが多数訪れ、盛りだくさんの催事を楽しみました。



大勢の人が楽しんだ「こどもまつり」



生涯学習奨励員の紙芝居に聞き入る



「干し柿づくり」に挑戦



大画面で絵本の読み聞かせを行う



「黄桜ひろば」では子育てサポーターと一緒に工作を楽しむ



大人気だった「エアポリン」



素晴らしい踊りを披露



力作が並んだ会場

## 芸術・文化の秋を満喫

### 生涯学習作品展

生涯学習作品展が十月三十日と三十一日の二日間、有郷館で開催されました。

会場には陶芸、写真、ちぎり絵、俳句、書道、フラワールアレンジメント、手芸などの力作が多数展示され、町芸術文化協会所属団体をはじめ、小中学校児童生徒、わくわくサークル会員、一般市民の優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供し、訪れた多くの人々の目を楽しませました。

### 芸能ステージ発表

十月三十日、町民体育館を会場に町芸術文化協会所属団体等による芸能ステージ発表会が行われました。

当日のオープニングは大正琴の演奏に始まり、続いて各団体が舞踊、カラオケ、民謡などを披露。

日頃の練習の成果を発揮し、当日鑑賞会を行ったことぶき大學生をはじめ、たくさんの観衆を湧かせました。



楽しみながら英会話を学ぶ

### 英語で遊ぼう

十一月から毎週火曜日の六時三十分から八時まで、公民館学習室で高校生から一般までを対象に英会話教室が行われています。

講師は今年の八月から町の新しいALTとして着任したニツク先生。

参加者は英語を取り入れたゲームやクイズを行いながら英会話を学んでいます。興味のある方は教育文化課まで連絡ください。 六九 二三一

#### 英会話教室



思い出の歌を合唱

### 青春の歌 心にひびく

第三回うたごえ喫茶

十一月六日、有鄰館を会場に第三回うたごえ喫茶が開催されました。

当日は東京新宿の「うたごえ喫茶ともしび」から四人の出演者が来町。ピアノとアコーディオン伴奏で参加者六十余名とともに思い出の曲や、ロシア民謡、シャンソンなどを歌い、当時を懐かしみながら、参加者同士交流を深めていました。



料理を楽しむサークル会員

### 楽しいネ、料理づくり

十一月十三日、二十七日の両日、東由利中学校の調理室を会場にサークル会員、保護者、ボランティア等八十九人が参加して料理教室が行われました。

当日は「目玉焼きとベーコンのホットサンド」、「まんまいがぐり」の二品目に挑戦。試食会ではみんなで協力してつくった手作り料理の味に満足の様子でした。

#### わくわくサークル



わかりやすくお話された新野先生

### 郷土の先覚者を顕彰

小松耕輔生誕 百二十年記念講演会

十一月十八日、有鄰館で秋田県立博物館名誉館長の新野直吉氏を講師に小松耕輔生誕百二十年記念講演会「昭和天皇の先生小松耕輔」が開催されました。

当日はことぶき大学生、一般町民など百五十余名が参加して行われ、町が生んだ偉大な音楽家の業績を改めて顕彰しました。

#### 小松耕輔生誕

#### 百二十年記念講演会

## 11月 公民館行事から

## 新着本紹介

12月

図書館から借りたまになつては  
ありませんか？  
本の貸出期間は三週間です。  
貸出期間を守ってお借りください。

秋の花火／篠田節子  
二人目の母親になつてゐる日本の男  
たち／正高信男

追憶のかけら／貫井徳郎  
農から見た日本／山下惣一  
晴れた日は巨大仏を見に／宮田珠己

死んでいる／ジム・クレイス  
恋愛二賢人／林真理子

まま母狂想曲／黒坂黒太郎・矢口周美  
雨にも負けず粗茶一服／松村栄子

男の始末／藤室志津子  
ランドマーク／吉田修一  
五歳の記憶／高見映

永遠の朝の暗闇／岩井志麻子  
くちびる美人タイエット／宝田恭子

大好きなことを「仕事」にしよう  
／中村修二

自分の顔が許せない！／中村つさぎ  
・石井政之  
花も実もない人生だけど／中村つさ

ぎ  
愛されてお金持ちになる魔法の言葉  
／佐藤富雄

知っているつもり英単語／小坂貴志  
浮らな韻／岩井志麻子

全日本「食の方言」地図／野瀬泰申  
夢の泪／井上ひさし





小松耕輔

## 「音楽の花ひらく頃」

今年は、郷土の先覚者である小松耕輔氏の生誕百二十年にあたります。

日本における音楽の普及と振興に費やされた氏の諸活動には「音楽の社会化」という大きな目標があったのです。

音楽家・小松耕輔について研究し、修士論文を書きになった小野千草さんにお話を伺いました。

小野さんが本町を訪れたのは平成十五年三月のときでしたよね。

小野 はい、まだ雪がたくさん残っていてびっくりしました。大学・大学院を通じて西洋音楽の日本への導入について研究し、その中で特に小松耕輔の活動をテーマに修士論文をまとめましたが、論文を書き上げた時点で、やはり一度、耕輔の生まれ育ったところを見ておきたいという思いに突然駆られて…。

私は、あの頃、耕輔については何ひとつ知らない有様で、あまりお答えできなかった。

小野 小学校の音楽教室には耕輔の写真がありましたし、思いもかけず小松栄男さんにお会いでき、貴重な資料を見せていただきました。

それから耕輔選定のピアノのことね。昭和二十八年、玉米中学校でピアノを購入するにあたり、当時の菊地校長と耕輔が浜松市に赴き、ピアノを選んだという記録があるのですが、そのピアノを見たいと小野さんから申し出があつて、あちこち探しましてね。で、大琴小学校の廊下に古いピアノがあつたことを思い出して、「昭和二十八年寄贈」と書いてあつたものですか。

「このピアノです」と案内した。実はあのピアノ、違っていたんです。

小野 そうだったのですか。それで見つかったのですか。

同じ大琴小学校の体育館に置いてあつたんです。目と鼻の先にあつたわけですし、あの時は本当に失礼しました。今は「小松耕輔選定のピアノ」と説明板を作つて、保管してあります。

小野 ピアノは放置しておく、と、どんな悪くなるのです。何か謂があるからといって博物館状態にしておくよりも、修繕して、ぜひ使っていた方がいいと思います。

ところで、小野さんは「小松耕輔による音楽の社会化運動の思想」という修士論文を書きになったわけですが、耕輔をテーマとして選んだ理由は何かあったのでしょうか。

小野 「音楽会」「音楽家」のように、音楽といえは西洋のクラシック音楽を思い浮かべることが多く、邦楽とかポップスとかいろいろな音楽があるのに、私の頭の中では西洋音楽が中心に据えられている。それは、なぜなんだろう。西洋から導入したものを発展させて定着させるためには、その基盤を作ってきた人達がいるはずだ、と考えた

わけです。明治から大正にかけて、日本において樹立されるべき音楽について激しい議論がありました。その中で、音楽雑誌や新聞に、日本に音楽文化を普及させる仕組みについて積極的に論考を発表し、実践する人がいた。それが、小松耕輔という人でした。音楽家は武士は食はねど高楊枝のような態度ではいけないとか、報酬を得ることは少しも恥ずべきことではないとか、当時としてはタブー視されていたことについても、かなり正面から論じていました。当時、すでにそのような考えが発表されていたのかと、びっくりしましたが、そこが魅力的でした。

日本の音楽史研究において、耕輔一人を取りあげた総体的な研究と呼べるものはひとつもなかったわけでしょう？



小松耕輔選定のピアノ



小野 千草 (おの ちぐさ)

1977年、東京都生まれ。  
東京大学大学院 人文社会系研究科(美学芸術学) 修士課程修了。現在、(社)全日本ピアノ指導者協会 本部ステップ事業部に勤務。修士論文「小松耕輔による音楽の社会化運動の思想 戦前の言説と活動の展開を通して」により2003年3月修士号取得。

小野 ええ、なかつたですね。今まで  
の論じ方は、「西洋音楽が導入されま  
した、何人かの優れた演奏家が出てき  
ました、それで今日のように発展しま  
した」という論じ方が多かったのです。  
私が考えるのは、一部の優れた演奏家  
がいたから音楽が普及したわけでもな  
いし、何かが導入されたから、それで  
すぐに普及するわけでもないというこ  
とです。それでは、間が抜けています。  
その人達が素晴らしいくても、演奏する  
場、世間一般の人達が聴く場がなけれ  
ば、また、それを評価する人達がいな  
ければ社会に音楽がこれほど普及して  
いかなかったはず。その場作りとい  
いますか、基盤をどのように作って  
きたのかに注目したのです。

耕輔は多くの顔を持った音楽家で  
す。作曲家、評論家、教育家、オペラ

の先駆者、合唱運動の生みの親、著作  
権擁護の推進者：数えあげたらきりが  
ないくらい多方面で活躍しています。  
その中でも、最も本領を発揮した分野  
が作曲と音楽評論の分野ではないかと  
思うのですが。

小野 耕輔は、作曲家としても、曲集  
として残っているものだけでも二百数  
十曲以上の歌曲を中心とした作品を残  
しています。評論家としては、いくつ  
ものペンネームを用いて、学生時代か  
ら没年まで膨大な数の論考を発表して  
います。本当にいろんな側面を持って  
いますけれど、それを総合的にやろう  
とする人はあまりいませんでした。作  
曲家は作曲だけ、評論家は評論だけや  
ればいいというのではなくて、日本に  
音楽文化として根づかせるためには、  
作曲、実演、組織づくり、議論の形成

とを、同時に総合的に育成しなければ  
ならない。どれかひとつだけでは駄目  
だということを身をもって体現した人  
だと思います。また、それを言葉で伝  
えていく必要があるわけで、評論とい  
う分野でもかなりのエネルギーを注い  
だ人ですね。

音楽家になろうと決意したのは、  
矢島小学校高等科のときですね。また、  
作曲家を志したのは東京音楽学校本科  
一年のときですね。

小野 オルガンに最初に接したのは矢  
島の高等科の時と回顧されています。  
唱歌を教えてくれる先生がいて、それ  
がすごく楽しくて音楽に対する愛着が  
どんどん深くなっていったようです。  
十四歳のとき「玉米八景唱歌」という  
歌を作っています。全国的に鉄道唱歌  
が流行していた頃で、故郷の景色を織  
りこんでそのような唱歌を作ったのだ  
と思われま。それを村の子ども達に  
も歌わせたとありますから、小さい頃  
から作曲をして発表したいという欲求  
はあったようですね。東京音楽学校で  
は作曲をやったのだけけれど、当  
時、作曲科はなかったの、バイオリ  
ン科に入ったようです。その頃、ピ  
アノ科にハイドリヒ先生という人がい  
て、演奏も作曲もするというので、ピ  
アノ科に移ったのです。ピアノをや  
りたくてピアノ科に入ったというより、

作曲を教える先生がピアノ科にいたか  
ら、そちらに移ったということではな  
いかと思います。

本科在学時、年令にして二十歳か  
ら二十二歳の時期は「音楽新報」の編  
集に携わり自らも評論活動を開始しま  
すし、歌劇「羽衣」を創作するなど、  
耕輔の生涯において非常に重要な時期  
に当たりますよね。

小野 そうですね。音楽学校に入学し  
た頃はピアノを練習したり、とにかく  
一生懸命勉学に励むのですが、本科卒  
業の一年前あたりから帝国大学の文学  
関係の人達との交流が始まるなど、活  
動の領域が学内にとどまらないほど交  
流が増えていった時期ですね。学外で  
の交流が、音楽学校卒業後の耕輔の活  
動に大きな影響を与えています。実際  
在学中に音楽新報を編集したり、歌劇  
研究のための楽苑会を組織しています  
が、学内で勉強するだけでは、このよ  
うな活動は生まれてこなかったと思  
いますね。

耕輔といえば、国内初のオペラ  
「羽衣」の創作者としてあまりにも有  
名ですが、どうして最初に歌劇(オペ  
ラ)に取り組んだのか?当時の歌劇に  
関する状況はどのようなものだった  
のですか。





(左) オペラ「羽衣」のスコア (右)「羽衣」に付された森鷗外の序文 (県立博物館所蔵)

小野 当時、西洋では歌劇は文学、美術、演劇、音楽などの総合芸術であるという考え方があり、それが日本にも入って、ワーグナー熱が盛んになっていました。日本人による最初の歌劇上演は明治三十六年のことですが、この時はケーベル、ペリーという外国の先生が指導をして、音楽学校の在学卒業生が上演するといった形で西洋の歌劇「オルフォイス」を上演しました。しかし、その後、金銭的な問題や風紀上の問題もあり、音楽学校で続行することができなくなってしまっていました。この頃、文学界では坪内逍遙の楽劇論が話題を呼び、歌劇に対する世間の注目も高まってきました。耕輔は、歌劇には文学と音楽の両方があって、それが融合しなければならぬ

れど、全編を歌と音楽で綴っていくため、やはり音楽界が中心になってやらなければならぬと考えていたようです。「羽衣」は、全幕ほとんど音楽が続く、我が国最初の歌劇でしたが、それ以上に、西洋の借り物ではなく、日本の作品をベースに日本の作曲家が作り、日本人が自分のことばで演ずると全部自前でやって行くことが重要だったのです。

「羽衣」については「完全なものではない」と耕輔自身認めていますね。内外に示して批評を問いたいという気持があつたのでしょうか。

小野 それはあつたと思います。

そういう意味では実験的な試みとして上演したと考えていいでしょうか？

小野 実験的な試みだったと思います。当時は「日本には歌劇を興すだけの機運も条件も備わっていない」と風当たりも強かったのです。しかし、日本人には作曲などできないとかオペラはできないといった議論ばかりしていても何も起こらないじゃないですか。まず、やってみて、それに対する批評なり反応があつて、それで本当に何が必要かという問題が出てくるのです。「羽衣」をやるにあたって、オーケストラを組織しなければならない、演技

者と合唱隊が必要である、一般の人達に上演を告知することも必要になってくる。そういう問題がいっぱい出てきたわけですね。従って、そういう問題に対処するためにも、まずやってみること、実行を試みることに意義がある、機運や条件は自然に訪れるものではなく、自ら作るものだ」と耕輔は考えていました。

耕輔の関心事は、音楽の技術的な面の向上よりも、将来、音楽家が進むべき社会的方向はどうあるべきかという音楽家としての姿勢を問うところから出発していますね。一例を挙げると、二十一歳のとき発表した「音楽学校卒業生の将来」という論考の中に「社会音楽(平民音楽)の方面に活動すること」とありますが。

小野 「社会音楽とは、即ち平民音楽の謂にして社会の中流以下に向けての音楽を云うものなり」これが耕輔の社会音楽の定義ですね。明治になって西洋音楽が本格的に入ってきましたが、それは一部の特権階級、上流階級のものでしかありませんでした。はたしてそれに終始していいのだろうか？ いま、一番欠けているのは中流以下の階級の人達にとつての音楽だ、と耕輔は考えていました。二十世紀の初頭は、日本でも中産階級が台頭して来た時期ですね。そういう背景があつて、新し

く台頭してきた中産階級の人達がどういう文化生活をしていくのかが、音楽以外の分野でも論じられた時代です。また、日清・日露戦争が終わって、軍需産業に代表されるような物質至上主義に偏っていたことが反省され、そうではなくて、人間や国家というものは物質文化と精神文化がバランスよく発達していかなければならないという議論が盛んに行われるようになってきました。耕輔は「一国の柱石」という言葉を使っていますが、これからは一国の柱石である中流以下の人達の生活にもつと目を向けなければならない、なぜなら、国の多数を占める中流階級の人達が精神文化の面で成長していくか否かは、国の消長に関わる問題でもあるから、というのが、耕輔が中産階級をターゲットに音楽文化を普及させることの根拠でした。当時、音楽会が開かれても入場料は一元〜二元とすごく高かった。それに行くことができる人は限られていたし、行われる場も限られていました。それをもつと世間一般の人達が日常的に音楽を楽しむことができる機会なり場をどうやって作っていくかを真剣に考えていた人ですね。

(以下、次号に続く)

なお、文中、「小松耕輔」を「耕輔」と表記しました。

取材日・平成十六年十一月十二日  
聞き手 教育文化課 小松英治

# 小松耕輔年譜

Kosuke Komatsu Biographical Note

西暦	年 号	年齢	事 績
1884	明治17年	0	12月14日、由利郡館合村に父平蔵、母トミの二男として誕生
1891	明治24年	7	館合尋常小学校に入学
1894	明治27年	10	矢島小学校高等科に入学
1901	明治34年	17	上京し、東京音楽学校（現在の東京芸術大学音楽学部）選科に入学
1902	明治35年	18	東京音楽学校予科で眼病を患いながらも勉強を続ける
1903	明治36年	19	東京音楽学校本科に入学。ピアノと作曲法をヘルマン・ハイドリヒに師事
1904	明治37年	20	音楽雑誌「音楽新報」（山田源一郎主宰）創刊につき、編集執筆を手伝う
1905	明治38年	21	「音楽新報」に「音楽学校卒業生の将来」を発表
1906	明治39年	22	本科卒業を目前に、国内初のオペラ「羽衣」を創作し、楽苑会第1回公演会で発表する。首席で卒業し、研究科に学ぶ。学習院の講師となる
1907	明治40年	23	帝国音楽会を組織し、理事となる。歌劇「霊鐘」（小林愛雄作詞）を上演
1908	明治41年	24	「音楽界」の編集主事となる。学習院初等科に入学された皇孫殿下（後の昭和天皇）の唱歌担当となる。学習院助教授となる
1915	大正4年	31	社会音楽の改善進歩を目的に「音楽普及会」を組織。「大正幼年唱歌」を梁田貞、葛原しげると共編出版
1917	大正6年	33	「芭蕉」（北原白秋作詞）、「沙羅の木」（森鷗外作詞）などを作曲
1919	大正8年	35	「泊り舟」（北原白秋作詞）、「母」（竹久夢二作詞）などを作曲
1920	大正9年	36	学習院現職のまま欧米に留学
1921	大正10年	37	パリ国立音楽院で作曲及び和声楽を学ぶ。ドイツ、オーストリア、イタリア、スペイン、イギリス、アメリカ等において音楽教育及び社会音楽の現状について調査研究
1923	大正12年	39	アメリカより帰朝
1924	大正13年	40	学習院教授となる。政府の蓄音機増税に対し反対運動をする
1925	大正14年	41	「作曲家組合」を組織し、著作権を守る運動をする
1927	昭和2年	43	社会音楽の発達普及を目的に「国民音楽協会」を設立し、理事長をつとめる。第1回合唱音楽祭（日本最初の合唱コンクール）を開催
1928	昭和3年	44	日本作曲家協会を設立し、理事長となる
1937	昭和12年	53	東京女子高等師範学校（現在のお茶の水女子大学）教授となる
1939	昭和14年	55	日本大学芸術科音楽主任となる
1940	昭和15年	56	国民学校教科書編集委員をつとめる。日本大学芸術科教授となる
1945	昭和20年	61	郷里玉米へ疎開
1946	昭和21年	62	東宮仮御所にて皇太子殿下に音楽一般について講話
1947	昭和22年	63	全日本合唱連盟を結成し、理事長となる。第1回全日本合唱コンクールを開催 教育音楽協会長をつとめる
1949	昭和24年	65	文部省大学設置審議会専門委員、著作権審議会専門委員をつとめる
1950	昭和25年	66	文部省著作権法改正案起草審議会委員をつとめる
1951	昭和26年	67	お茶の水女子大学教授となる
1952	昭和27年	68	自伝「音楽の花ひらく頃」を出版。東邦音楽短期大学教授となる
1954	昭和29年	70	東洋音楽短期大学講師となる
1958	昭和33年	74	紫綬褒章授与
1961	昭和36年	77	自伝「わが思い出の楽壇」を出版
1966	昭和41年	81	2月3日永眠。勲四等旭日小綬章授与

参考：県立博物館編集「秋田の音楽家・展示解説資料」、小野千草 修士論文「小松耕輔による音楽の社会化運動の思想」





## 知っておきたい Q&A

**Q.** 急に介護が必要な状態になったら、どうすればいいのでしょうか。

**A.** まず、すぐに役場の窓口に要介護認定の申請をします。そして、ケアマネジャーに暫定的な介護サービス計画（ケアプラン）をつくってもらい、介護サービスを受けます。

認定審査で判定される要介護度は、申請した日までさかのぼることができるので、認定結果の通知前でも介護サービスを受けることができます。

ただし、この間の費用は、いったん全額を自分で支払い、あとで自己負担分を除いた額が戻ります。

問い合わせ 町民福祉課福祉係 69 - 2118

## お口の健康豆知識

### 胎児の歯とお母さんの歯(前)

赤ちゃんの歯がで始めるのは、妊娠6週目ころ。10週目までに乳歯の芽すべてが、あごの中で発生します。お母さんが妊娠に気づき、健康に気を配りだすころには、乳歯のもとではじめています。

つわりの時期は、歯磨き剤の味やにおいに敏感になり、歯ブラシを口に入れるだけで吐きそうになることがあります。歯磨き剤を使わずにのんびり磨きましょう。また、口内の環境が悪化し歯茎から出血した場合は、柔らかい歯ブラシで丁寧に磨いてください。歯磨きが行き届けば出血は治まります。

妊娠すると口内のPH濃度が酸性に変わり、ちょうど虫歯の多い子どもの口の中に似た状態になります。何か食べるたびに歯を磨くことはなかなかできないでしょうから、最小限よくうがいしましょう。

この記事は、本荘市由利郡歯科医師会から寄せられた原稿をもとに掲載しています。



### 国民年金の保険料は、 全額社会保険料控除が 受けられます

#### 年金日より

国民年金の保険料は、所得税法上、社会保険料控除の対象となっています。平成16年中に支払われた保険料は、全額所得税から控除されますので、保険料控除申告書を提出する場合には忘れずに申告してください。

#### 《対象になる国民年金保険料》

毎月の納付した保険料

前もってまとめて納付した保険料（全納保険料）

未納期間を納付した保険料

免除された期間を遡って納付した保険料（追納保険料）

学生納付特例を受けた期間を遡って納付した保険料（追納保険料）

家族などの分の保険料を納付した場合も、所得控除の対象になります。

問い合わせ 町民福祉課年金担当 69 - 2117

## ほけんしのコラム

### いきいき健康教室

#### 規則正しい生活で風邪ウィルス撃退

風邪のウィルスが好むのは、不規則な生活で免疫力が低下した体です。特に抵抗力の弱い高齢者や子どもなどは注意が必要です。

気温が下がり、乾燥した冷たい風が吹く冬は、風邪が流行しやすい季節。「万病のもと」とも言われる風邪を予防するために、次の点に注意して規則正しい生活を心がけましょう。

#### 風邪予防のポイント

1. 家に帰ったら、うがいと手洗いを。
2. 部屋の保温と加湿、換気を心がける。
3. マスクやマフラーなどを着用し、鼻・口・首周りを温かく保つ。
4. バランスの良い食事と適度な運動で体力をつける。
5. 早めの就寝で十分な睡眠を。

## 東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	kg当単価
去勢	32	311kg	564,638円	1,729円
雌	17	280kg	497,268円	1,700円
全体	49	300kg	541,264円	1,713円

## 最高価格

	金額	父	母の父	母の祖父
去勢	665,700円	平茂勝	北国7の8	安福165の9
雌	681,450円	平茂勝	北国7の8	福谷1

## 木材共販市況

(平成十六年十一月・平均価格)  
四十五年生・五十五年生

径級	単価(石)	備考
直材36cm上		
24~34cm		
14~22cm	3,222~3,247	
13cm下		
曲り材		

24cm上は引合いがなく3口あった16~22cmのみ落札

林業  
だより

## 次期スギ間伐対策

スギ林の間伐推進は、二十年程前から国の重要施策として進めてきたのですが、外材攻勢や木材価格の低落から間伐の実施面積が減少し、その対策として平成十二年度から緊急間伐五カ年対策がスタートし、間伐団地計画を作成して補助事業を実施してきました。東由利町の間伐実績は、森林組合によると五年間で約四五〇となっており、ます。本事業は平成十六年度で終了するため、林野庁では現行対策に引き続き平成十七年度を初

年度とする次期対策を計画中で、その概要は次のとおりです。次期対策のねらいは、三年間で間伐の遅れた個所の解消を図ることに加えて、人工林資源の循環利用システムの確立を目指すこととしています。特に間伐推進体制や団地間伐の手法について見直しを行うほか、間伐対象林齢三十年から三十五年を四十年位までと改め、間伐材収入の採算性を重視して、作業道の開設や高性能機械の導入による効率的な間伐システムの導入を推進することとしています。

(町林業懇話会長

佐藤恒悦氏)

## おとなり情報

～本荘由利の催物などを紹介します～

## 鳥海町から

## 鳥海オコジョランドスキー場 スキー場開き

と き...12月17日(金)  
ところ...鳥海オコジョランドスキー場  
内 容... 安全祈願祭(11:00) 営業開始(12:00)  
初日はリフト無料。ただし、積雪状況により滑走できない場合もありますのでご了承ください。  
鳥海町建設商工観光課 57-2204

## 矢島町から

## 鳥海高原矢島スキー場オープン

と き...12月10日(金) 10:00  
ところ...鳥海高原矢島スキー場  
内 容... 安全祈願祭など 降雪状況(滑走の不可)を電話またはホームページでご確認の上、ご来場ください。  
矢島町企画商工観光課 55-4953

## 鳥海高原矢島スキー場

## 2005エランカップGSLスキー大会

と き...12月26日(金)  
ところ...鳥海高原矢島スキー場  
内 容...降雪の状況により延期になる場合があります。詳細はお問い合わせください。  
矢島町企画商工観光課 55-4953

## 仁賀保町から

## 実験教室「空中回転こまを作ろう」

と き...12月11日(土) 9:30  
ところ...フェライト子ども科学館  
対 象...小学3~6年生(定員20人になり次第締切)  
参加料...300円  
フェライト子ども科学館 32-3150

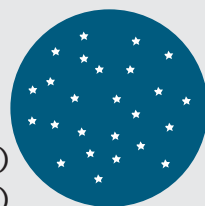
## 予約受付中!

プラネタリウム  
ライブトーク

秋田ふるさと村「星空探検館スペース」で、世界に一つだけの手作りプラネタリウムを体験してみませんか。「あの星について知りたい」「あの星が見たい」などのご要望に応じて、プログラムを構成します。

## ご利用案内

投影時間 30~40分  
入館料  
一般500円(20人以上450円)  
学生400円(20人以上360円)  
小中学生300円(20人以上270円)  
座席数 271席  
募集期間 平成17年3月31日まで(ご利用の一週間前までにご予約願います。希望の時間帯をご相談ください)  
予約は10人以上から受け付けます。



## お問い合わせ

秋田ふるさと村「星空探検館スペース」  
〒013-0064  
横手市赤坂字富ヶ沢62-46  
0182-33-8800  
<http://www.akitafurusatomura.co.jp>



# ふるさと 九〇 むかしむかし

## 馬の尻と若勢

むかしむかし、あるところに大きな百姓家で働いている若勢がいました。ある日のこと、若勢は馬を引いて裏山に茅を刈りに出掛けました。うす暗い山道にさしかかった若勢は、この辺りの山道を通る者を化かす狐が出るという日頃のうわさだが、どう化かすのか見てやろうと、「やい、狐やあー。俺を化かすなら化かしてみろおー」大声を張り上げるのでした。俺はけつして化かされないぞと、馬の手綱を木に結わえ、一人で林の奥に歩いていくと、急に辺りが暗くなり「変だなあ、秋の日はつるべ落としと言うが、こんなに早いものか…」と独り言の若勢です。

すると、うしろの方から女がやってきて、ひょいと振り向き、にっこり笑って「こんばんは」ほれぼれするようないな姉さんなので、若勢はうつとりしながら、こんな夜更けに女が一人でどこへ行くのだらうと、後をついて行きました。しばらく行くと一軒の家があったて、女はどうやらその家に入った

様子です。障子には女の影が映って、なんとなく良い香りがします。「…いい女は、いい香りまでするんだなあ」鼻をひくひくさせながら障子に映る悩ましい女の影を見ている若勢なのでした。

そのうち、なんとしても見たくなってきた若勢は、そつと障子戸を少し開けてみようとしましたが、妙なことに障子戸はふにやふにやして開きません。力を入れると固く閉じるばかりです。しゃくに障った若勢が、ふにやふにや障子戸を思いつきり両手に力をこめて「えいっ」とばかり開けようとしたときでした。「ヒーン」馬のいななきと同時に、開いた障子戸の陰からモロモロツと、ほやほや湯気の立つまんじゅうの山が降



ってきました。若勢は驚いて「うあー、おいしそうなほやほやまんじゅうが降ってきたあー」さつそくぱくりと食べてみると、苦みのある格別の味です。三つも平らげた若勢は、それどころか残りのまんじゅうを懐いっぱい拾い集めるのでした。そんなとき、「よおつ、何をしてるんだい。馬に蹴飛ばされるぞっ」肩をたたかれて振り向くと、隣の兄が山仕事に行く途中なのでした。若勢はハッと自分に気付くよく見たら馬の尻に手を当てる懐にはほやほやと湯気の立つ丸い馬のフンをいっぱい入れているのでした。

小野豊二郎氏(横渡)の語りより  
(文と絵 石渡力造氏)

## 季節を詠む

(せせらぎ句会)

鳥海山眺め早目の冬囲

上里 小野 石路子

地震の禍の地にこれからの雪と風

舟打場 高橋 民治郎

銀杏黄葉映えて出稼ぎ止めし村

久保 高橋 典三

裏手より訪ふ気安さや実南天

横小路 宮野 源二郎

村の灯は早く消えゆく夜長星

小倉 遠藤 トミ子

バ力塗りの卓を転げて木の実独楽

秋田市 嵯峨 義之

いつの間に虫の音遠くなりけり

蔵新田 小笠原 トミ

山眠るほっこり包む外林山

横渡 高橋 ヒデ子

競うもの皆かがやいて秋まつり

山崎 小松 良子

越境の熊のセンサー揺れを知る

横小路 小松 丈介

雨後の霧煙のごとく山登る

上通 小松 メサ

大根引く踏ん張る足の太きかな

高戸屋 小松 敏雄

囲われてなお咲きほこる花ハッ手

蔵新田 小笠原 亮子

柿灯る暮れ残したるうす明り

中通 小松 順之助

初冠雪縮みし老母の肩越しに

新町 寅田 敏雄

解屋に晩秋の風戸惑えり

五海保 嶽石 レイ

粧いし紅葉の山に抱かれる

時雨山 吉川 葉子

胎内へ帰心一途に鮭のぼる

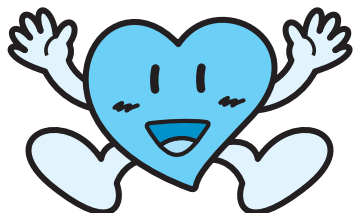
舟木 大庭 喜右衛門

## 愛の輪

### ～献血をありがとう～

成分献血 11月19日（敬称略）

鈴木政雄（袖山） 畠山正幸（下通）  
小松正二（上通） 小松孝子（宮ノ前）  
小松聖明（須郷田） 小松和美（山崎）  
小松雄一（松柴） 小松喜恒（下通）  
小松慶悦（須郷田） 遠藤吉保（小倉）  
小松貢治（館合新田） 高沢稔（黒淵）  
工藤博行（蔵） 遠藤建一（新処）  
佐々木亮介（新町） 菅原勉（羽後町）  
工藤美紀子（久保）



## 警察の組織再編が始まります

県警察では、警察力強化を図るため、組織機構の再編整備を行います。

### 警察署の再編整備

17警察署体制を15警察署体制に。（来年4月から本荘署と矢島署を統合します）

- ・市町村合併による行政区域の変動を考慮して、管轄区域を見直します。
- ・各警察署に24時間対応する機動警を整備します。
- ・当該建物に幹部交番を設置します。

### 交番・駐在所の再編整備

- ・「38交番・190駐在所」を「47交番・100駐在所」とします。
- ・統合する交番の勤務員を大幅増員します。
- ・全ての交番に交番相談員を配置します。
- ・駐在型交番を除く全ての交番にテレビ電話を設置します。

### 地域安全ネットワークの構築

- ・交番、駐在所と町内会との間で強力な地域安全ネットワークを構築し、自主的な地域安全活動に支援します。

### 警察本部警務課企画第二係

（ 018 - 863 - 1111 ）



小松 ルカくん・ルキくん  
（田代・1歳）

お父さん：茂 明さん  
お母さん：理 香さん  
お話し：理香さん

名前の由来は？

「お兄ちゃん二人の名前が「ラ行」だったので、合わせて「ル」を取りました。下の「カ・キ」は、私たちの名前から一つずつ取りました」

好きなものは？

「音楽が好きで、テレビなどから曲が聞こえてくると、二人で手をたたいています」

最近のエピソードは？

「あまり泣かない方なので、気が付くと二人で青あざをつくっています。つかまり立ちをしているので、バランスを崩してテーブルにぶついているのだと思います」

家族では誰になついていますか？

「誰にでもなついています」

二人の性格は？

「ルカは結構おっとりしています。ルキは活発です」  
お父さんとお母さんからルカくん・ルキくんへひとこと  
「健康で、仲良しでいてほしいです。元気が一番！」



木島 留美さん（横渡・19歳）

職業は

ぶれっその「ジムワン」で働いています。

趣味、休日の過ごし方は

ダーツにはまっています。仕事が終わると湯沢市のダーツバーによく行きます。休日は家でのんびりしていることが多いですね。

自分の性格は

お気楽主義で、人見知りもあまりしません。友だちとワイワイにぎやかにするのが好きです。

理想のタイプは

おもしろい人。一緒にいて楽しいと思える人がいいです。外見はあまり気になりませんね。

目標・夢は

自分のお店を持つのが夢です。

家族へ一言

もうすぐ二十歳なので、そろそろ親孝行を始めます。



# データ東由利

## 住民基本台帳

	10月末人口	前月比
男(人)	2,302	- 5
女(人)	2,458	- 5
計(人)	4,760	- 10
世帯数(戸)	1,367	- 0

	10月異動人数	1月からの累計
出生(人)	1	16
死亡(人)	9	73
転入(人)	1	60
転出(人)	3	76

## 消防・交通

	10月発生数	1月からの累計
火災出動(件)	0	3
救急出動(件)	18	140
交通事故(件)	5	20
死亡(人)	0	2
傷者(人)	3	12
飲酒運転(件)	0	1
酒気帯び(件)	2	5

## 12月の行事予定

- 1日 家庭バレーボール交流会(～15日)
- 3日 心の健康づくり講演会
- 4日 わくわくサークル(上映会)
- 6日 合併協議説明会(克雪センター)
- 7日 合併協議説明会(住吉館) 予防接種(個別・ツ反)
- 8日 機能訓練教室
- 9日 予防接種(個別・BCG)
- 13日 ことぶき大学(防災講座ほか) 青少年講演会
- 14日 議会定例会(～17日・予定) 食生活改善講習会
- 15日 育児相談(黄桜ひろば)
- 19日 高橋宏幸賞表彰式
- 20日 心のさわやか相談
- 21日 機能訓練教室
- 23日 天皇誕生日 第21回本荘由利一市七町合併協議会
- 24日 小中学校終業式
- 28日 役場仕事納め
- 1/3日 成人式
- 1/4日 役場仕事始め 消防出初め式

## 東由利

## 郷土の野草

NO.238

## ヌカキビ

(イネ科)

文・写真 小松忠正氏

路傍、原野等に見える一年草で、気をつけて見なければ分からないほど細い草です。茎は直立して高さは1くらい、円柱形をしています。質は瘦長でやわらかく、色は緑色または暗紫色をしていて、側枝は互生し、これもまた細い緑色が暗紫色をしています。小穂は2くらい、枝

円形というよりも線形に近いような芒(ぼう)の細い毛のない実をつけます。和名「糠きび」はその草状が散漫細かな花体から名付けられたといわれています。

## 戸籍の窓口

(10月21日～11月20日届出)

お誕生おめでとう

今野愛理ちゃん 和人新町

畑山温紀くん 和江下吹

ごめい福をお祈りいたします

芦澤トミエさん(80)良藏・妻・祝沢  
菊池寅藏さん(77)イサ子・夫・祝沢  
佐藤秀男さん(55)暢子・夫・宿保  
小松四男さん(79)義憲・父・久保  
長谷山シケヨさん(89)徳造・母・八日町  
嶽石勝哉さん(79)富子・夫・五海保  
遠藤ハツヨさん(76)健一・妻・祝沢

広報への掲載を希望しない方は届出の際にお知らせください。

## フィルムひとこま



改修工事のため休業していた黄桜温泉「湯楽里」が、10月26日にリニューアルオープンしました。この日のフロントには、9時の開店前から長蛇の列。皆さん2カ月ぶりの湯楽里の湯が待ちきれない様子でした。(広報担当)

## おれ

(10月21日～11月20日)

広報送付謝礼として次の方から金一封をいただきました。  
鈴木カチ子さん(秋田市)、畠山良治さん(袋井市)、  
社会福祉協議会に次の方から芳志が寄せられましたのでご紹介いたします。  
遠藤三代治さん(小倉)、小野寺武夫さん(板戸)、柴田与太郎さん(須郷田)、畠山良治さん(袋井市)、長谷山徳造さん(八日町)、小松義憲さん(久保)



## ほっとひといき

皆さんの冬の楽しみは何ですか。私は「スノーボードがしたい!」と夏から大騒ぎ。雪が積もるのはまだまだ先になりそうですが、友だちとスノーボードの1泊旅行を計画中です。でも雪道の運転には自信がなく、特に11月は交通死亡事故が多発したのでますます怖くなりました。今年は暖冬になるそうですが、油断せずに安全運転を心がけ、楽しい冬にしたいです。(晃)